

9. 谷口晴記、塚原優己、井上孝実、和田裕一、喜多恒和、戸谷良造、稲葉憲之。HIV 母子感染成立例の産科的背景と児の予後。第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会。2006.4. 横浜。
10. 喜多恒和、松田秀雄、工藤一弥、岩田みさ子、小早川あかり、箕浦茂樹、佐久本薫、早川智、塚原優己、和田裕一、戸谷良造、稲葉憲之。本邦における HIV 感染妊婦の発生と母子感染予防対策の現状。第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会。2006.4. 横浜。
11. 谷口晴記、塚原優己、山田里佳、嶋貴子、今井光信、堀裕雅、瀬戸裕、和田裕一、喜多恒和、戸谷良造、稲葉憲之。妊婦 HIV スクリーニング検査の偽陽性に関する検討。第 24 回日本産科婦人科感染症研究会学術講演会。2006.6. 新潟。
12. 岩田みさ子、喜多恒和、北村勝彦、工藤一弥、小早川あかり、小林裕幸、佐久本薫、高野政志、早川智、松田秀雄、箕浦茂樹、吉野直人、高橋尚子、塚原優己、和田裕一、外川正生、戸谷良造、稲葉憲之。わが国における HIV 感染妊婦と HIV 母子感染の現状。第 24 回日本産科婦人科感染症研究会学術講演会。2006.6. 新潟。
13. Yoshino N, Kanekiyo M, Okamura T, Hagiwara Y, Someya K, Matsuo K, Ami Y, Yamamoto N, Sato S, Honda M. Replication-deficient vaccinia virus DIs recombinant as an effective and safe mucosal vaccine for immunodeficiency virus. The 16th International AIDS Conference. 2006.8. Toronto, Canada.
14. Kanekiyo M, Ami Y, Matsuo K, Someya K, Okamura T, Suzaki Y, Yoshino N, Yamamoto N, Honda M. A low-dose codon-optimized recombinant BCG-based HIV vaccine: prime-boost vaccination with recombinant BCG and replication-defective recombinant vaccinia virus DIs evokes SIV-specific immunity which overcome the anamnestic BCG immunity in macaques. The 16th International AIDS Conference . 2006.8. Toronto, Canada.
15. Nakasone T, Kanekiyo M, Yoshino N, Ami Y, Yamamoto N. Cell-Associated SHIV Infection to Cynomolgus Monkeys. 24th Annual Symposium on Nonhuman Primate Models for AIDS. 2006.10. Atlanta, Georgia.
16. 吉野直人、萩原由加利、菅野祐幸、堤玲子、野田公俊、佐藤成大。リンゴポリフェノール併用によるコレラ毒素アジュバントの毒性軽減と抗原特異的抗体産生。第 10 回日本ワクチン学会。2006.10. 大阪。
17. 尾崎由和、外川正生、葛西健郎、大場悟、國方徹也、吉野直人、榎本てる子、井村総一、戸谷良造、喜多恒和、和田裕一、塚原優己、稲葉憲之。わが国における HIV 母子感染の現状 —小児科施設への全国アンケート調査から—。第 20 回日本エイズ学会。2006.11. 東京都。
18. 吉野直人、和田裕一、喜多恒和、蓮尾泰之、林公一、矢永由里子、高橋尚子、鈴木智子、塚原優己、外川正生、戸谷良造、稲葉憲之。妊娠女性に対する HIV スクリーニング検査の現状。第 20 回日本エイズ学会。2006.11. 東京都。
19. 谷口晴記、塚原優己、川戸美由紀、源河いくみ、山田里佳、大金美和、嶋貴子、和田裕一、喜多恒和、稲葉憲之。わが国における HIV 感染妊娠の将来予測 (中・長期展望) 。第 19 回日本性感感染症学会。2006.12. 金沢。
20. 塚原優己、谷口晴記、和田裕一、蓮尾泰之、松田秀雄、箕浦茂樹、國方徹也、尾崎由和、葛西健郎、稲葉憲之。わが国の HIV 感染妊婦の将来予測—中長期展望の試み—。第 42 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会。2006.7. 宮崎。
21. 松田秀雄、塚原優己、佐久本薫、北村勝彦、

- 箕浦茂樹、和田裕一、稲葉憲之. HIV 感染妊婦の実態調査と母子感染予防に対する研究報告. 第 42 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 2006. 7. 宮崎.
22. 谷口晴記、塚原優己、和田裕一、蓮尾泰之、箕浦茂樹、松田秀雄、国方徹也、葛西健郎、北村勝彦、稲葉憲之. 妊婦 HIV スクリーニング検査偽陽性に関する前方視的検討とその対策. 第 42 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 2006. 7. 宮崎.
23. 国方徹也、井村総一、尾崎由和、葛西健郎、松田秀雄、和田裕一、塚原優己、稲葉憲之. 我が国における HIV 母子感染の現状－全国小児科施設に対する調査成績－. 第 42 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 2006. 7. 宮崎.
24. 吉田昌史、松田秀雄、山田秀人、上塘正人、松岡隆、川上裕一、芝崎智子、高橋宏典、古谷健一、水上尚典. パルボウイルス感染胎児における羊水中エリトロポエチン、トロポニン-T 測定の意義. 第 42 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 2006. 7. 宮崎.
25. 田中雅子、松田秀雄、川上裕一、芝崎智子、高橋宏典、長谷川ゆり、吉田昌史、古谷健一. 妊娠における麻疹・風疹・水痘・サイトメガロウイルス (CMV) 抗体保有率の検討. 第 42 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 2006. 7. 宮崎.
26. 松田秀雄. 胎児パルボウイルス感染の症例登録の提言. 第 4 回日本胎児治療学会. 2006. 10. 浜松.
27. 星野伸、村松友佳子、永井裕美、井上孝実、瀧本哲也、金田次弘、堀部敬三. 母子感染予防対策施行後に児末梢血白血球中に微量の HIV-1 DNA が検出されたが、感染には至らなかった 1 例. 第 20 回日本エイズ学会学術集会. 2006. 11. 東京.
28. 金田次弘、永井裕美、伊部史朗、加堂真由、近藤恭子、水野善文、濱口元洋、間宮均人、横幕雅行、星野伸、村松友佳子、瀧本哲也、堀部敬三、井上孝実. HIV-1 のプロウイルスと mRNA 定量の臨床応用. 第 20 回日本エイズ学会学術集会. 2006. 12. 東京.
29. 長縄 聡、菱山和義、松崎圭一、相澤志保子、真島洋子、北村勝彦、北中進、早川智. カンツイ由来の新規テルペノイド誘導体の抗 HIV 活性の検討. 第 20 回日本エイズ学会. 2006. 12. 東京.

H. 知的財産権の出願・登録状況
特になし。

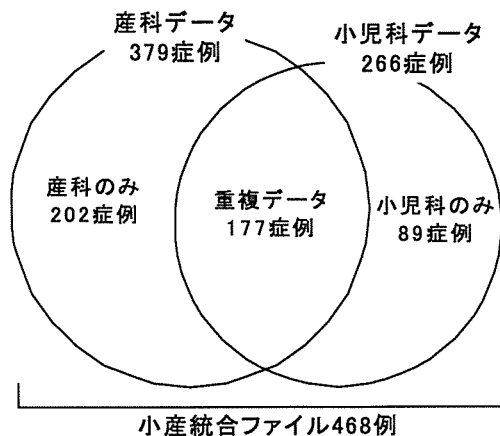


図 1 平成 18 年度産科・小児科統合ファイル構成

表 1 HIV 感染妊婦の発生都道府県別・年次別分布 (平成 18 年度産科小児科統合ファイル)

ブロック	都道府県	発生前年																							不明	総計 (%)	ブロック小計 (%)
		1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006			
北海道 ・東北	北海道										1								2	1						4 (0.9)	16 (3.4)
	青森												1													1 (0.2)	
	岩手															1										1 (0.2)	
	宮城														1				1	1	1	1				6 (1.3)	
	秋田													1							1					2 (0.4)	
	山形																					1				0 (0.0)	
	福島														2											2 (0.4)	
関東 ・甲信越	茨城										3	1	2	3	2	1	2	1	1	2	1		1			20 (4.3)	303 (64.7)
	栃木										1			1	3	3					1	3	3			15 (3.2)	
	群馬												1				1			1	1	1	1			6 (1.3)	
	埼玉									1	1	3	1		1	2	2	2			1	4	2			20 (4.3)	
	千葉									1	4	1	3	6	8	5	5	6	7	3	1	3	2		1	56 (12.0)	
	東京	1			1	1	2	1	2	4	6	5	9	4	8	13	10	8	11	4	11	6	10	2	1	120 (25.6)	
	神奈川									1	1	1		1	1	1	1	5	6	4	3	2	3	1		31 (6.6)	
	新潟													1			1	1				1	2			6 (1.3)	
	山梨										1										1					4 (0.9)	
	長野											2	1	3	1	1	2	2	2	4	1	2	2	2		25 (5.3)	
北陸 ・東海	富山															1										1 (0.2)	68 (14.5)
	石川																									0 (0.0)	
	福井											2														2 (0.4)	
	岐阜													1	1											2 (0.4)	
	静岡						1				1			1	1		1	1	3	2	2	2	6	2		23 (4.9)	
	愛知						1		1		3	3			5	5		2	1	6	3	2	5			37 (7.9)	
	三重											1			1	1										3 (0.6)	
近畿	滋賀														1						1					2 (0.4)	54 (11.5)
	京都										1			1			1	1	1			1				7 (1.5)	
	大阪								1	1	1	1	2		2	2	3	6		1	4	6	5	1		36 (7.7)	
	兵庫																	1	2	3						6 (1.3)	
	奈良																							1		3 (0.6)	
	和歌山																									0 (0.0)	
中国 ・四国	島根																									0 (0.0)	12 (2.6)
	鳥取																									0 (0.0)	
	岡山																									0 (0.0)	
	広島																1				1		1			4 (0.9)	
	山口																						1	1		2 (0.4)	
	徳島																									0 (0.0)	
	香川											1				1										2 (0.4)	
	愛媛																									2 (0.4)	
	高知				1	1																				2 (0.4)	
	九州 ・沖縄	福岡							1								2	1	1								
佐賀																										0 (0.0)	
長崎																										0 (0.0)	
熊本																										0 (0.0)	
大分																										0 (0.0)	
宮崎																										0 (0.0)	
鹿児島														1		1	1	1						1		7 (1.5)	
沖縄												1														3 (0.6)	
合計		1	0	0	2	2	4	2	6	9	17	20	25	29	38	39	40	41	37	35	32	37	40	8	4	468 (100)	468 (100)

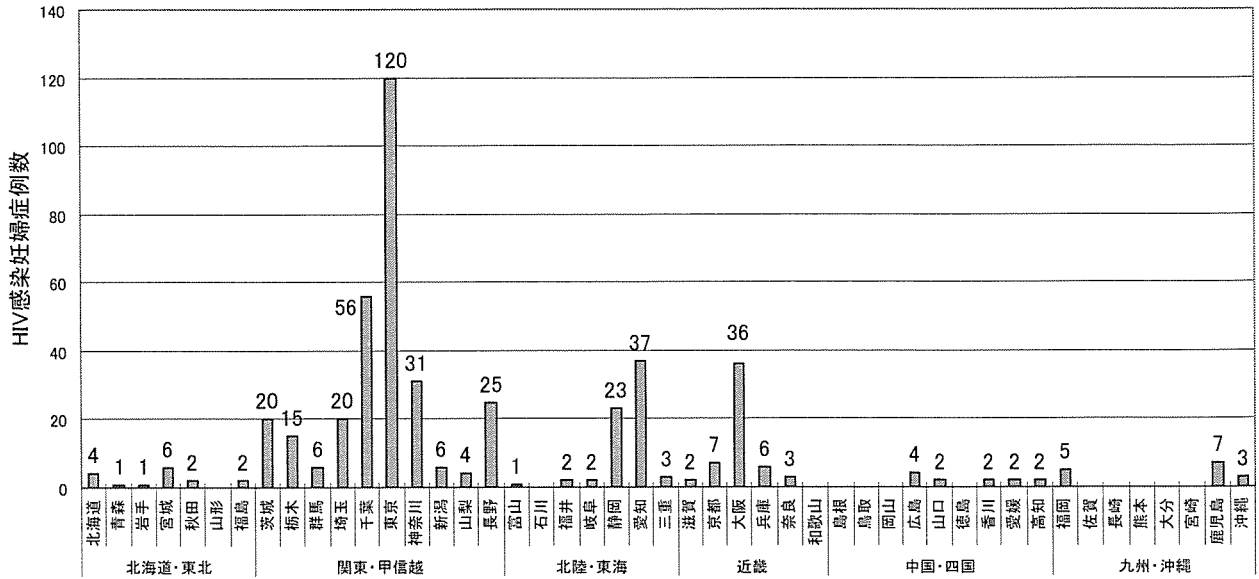


図 2 HIV 感染妊婦の発生都道府県別分布 (平成 18 年度産科小児科統合ファイル)

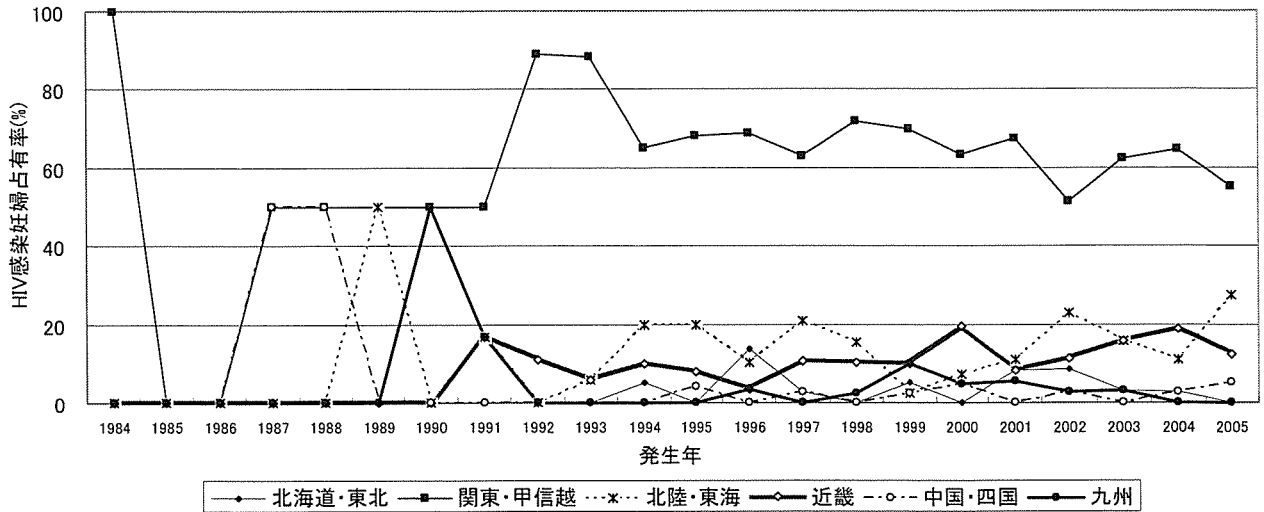


図 3 HIV 感染妊婦占有率のブロック別年次別変動 (平成 18 年度産科小児科統合ファイル)

表 2 2001-2005 年までの都道府県別症例数（検査 10 万対）（平成 18 年度産科小児科統合ファイル）

都道府県	発生年					合計
	2001	2002	2003	2004	2005	
北海道	9.96	6.67				3.26
青森						
岩手						
宮城	10.98	19.39	12.96	13.81		10.68
秋田		40.14				5.10
山形						
福島						
茨城	10.54	28.34	8.83		9.18	9.67
栃木			21.42	42.75	46.71	22.33
群馬		24.02	16.79	13.09	16.28	13.16
埼玉			5.10	16.17	11.44	6.88
千葉	67.02	32.27	10.42	18.08	12.43	25.80
東京	23.51	10.29	27.10	12.72	22.56	19.29
神奈川	12.27	11.43	6.81	8.53	2.74	8.13
新潟			9.72	17.84		5.64
山梨		43.52				6.85
長野	18.92	58.04	9.88	19.28	17.64	22.31
富山						
石川						
福井						
岐阜						
静岡	23.99	26.34	16.25	16.71	50.51	26.66
愛知	3.93	30.60	12.03	9.55	21.87	14.94
三重						
滋賀			36.21			7.71
京都	10.95			7.83		3.83
大阪		3.24	10.96	15.99	14.91	9.02
兵庫	10.78	21.36				5.79
奈良						
和歌山						
島根						
鳥取						
岡山						
広島		12.99		10.64	9.57	6.61
山口					20.21	5.63
徳島						
香川						
愛媛						
高知						
福岡	22.91					3.12
佐賀						
長崎						
熊本						
大分						
宮崎						
鹿児島		90.83	17.30			8.88
沖縄	32.53					4.11
合計	9.11	11.09	8.07	8.53	9.92	9.26

表 3 HIV 感染妊婦の国籍別・年次別分布（平成 18 年度産科小児科統合ファイル）

地域	国籍	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	不明	総計 (%)	地域別 (%)	
東アジア	日本				2	2	2	2	2	2	3	5	6	13	9	12	18	18	15	15	11	17	20	4	1	179 (38.2)	193 (41.2)	
	中国										1						1	2	1	1	2	3	1			12 (2.6)		
	韓国																					1	1			2 (0.4)		
その他	タイ								1	3	10	8	8	13	16	20	13	14	9	3	10	6	7	1	1	143 (30.6)	170 (36.3)	
	アジア												3			1	1	2		2	4					13 (2.8)		
	フィリピン																										3 (0.6)	
	ミャンマー								1						1												3 (0.6)	
	ベトナム												1					1						1			3 (0.6)	
	カンボジア												1													1	2 (0.4)	
	インドネシア																	1						1			2 (0.4)	
	インド													1													1 (0.2)	
	マレーシア																						1				1 (0.2)	
	ロシア																					1						1 (0.2)
ウクライナ																							1				1 (0.2)	
アフリカ	ケニア	1							2	1	1	2	1		2	1	1	2	1	2				1	1	19 (4.1)	50 (10.7)	
	タンザニア						1					1				1	1	1	1	1				3			10 (2.1)	
	ウガンダ												2		1						2						5 (1.1)	
	ザンビア																1		2			1	1				5 (1.1)	
	エチオピア						1					1					1					1					4 (0.9)	
	ガーナ																				2	1					3 (0.6)	
	ブルンディ												1														1 (0.2)	
	ジンバブエ										1																1 (0.2)	
	マラウイ																					1					1 (0.2)	
	ルワンダ														1												1 (0.2)	
中南米	ブラジル							2	1	2	1	1	1	4	2	1	4	5	4	4	2	2	4			35 (7.5)	40 (8.5)	
	ボリビア														1		1										2 (0.4)	
	ペルー																1				1						2 (0.4)	
	アルゼンチン																						1				1 (0.2)	
北米	アメリカ												1														1 (0.2)	1 (0.2)
	イギリス																						1				1 (0.2)	1 (0.2)
不明										1			1	2		1		1	2	1	1	1		2	1	13 (2.8)	13 (2.8)	
総計		1		2	2	4	2	6	9	17	20	25	29	38	39	40	41	37	35	32	37	40	8	4	468 (100)	468 (100)		

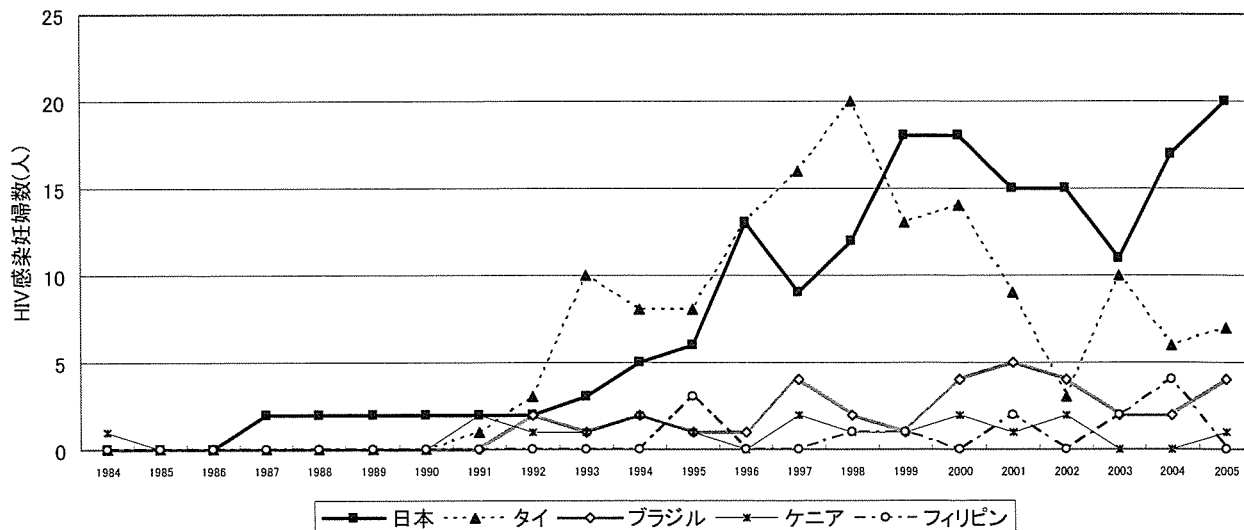


図 4 HIV 感染妊婦数の上位 5 カ国の年次別変動（平成 18 年度産科小児科統合ファイル）

表 4 HIV 感染妊婦のパートナー（夫）の国籍別感染数（平成 18 年度産科小児科統合ファイル）

地域別	国籍	総計	国別				地域別			
			感染	非感染	不明	感染割合	感染	非感染	不明	感染割合
東アジア	日本	191 (40.8)	45	95	51 (32.1)	45	95	53 (32.1)		
	中国	1 (0.2)			1					
	韓国	1 (0.2)			1					
その他	タイ	17 (3.6)	7	5	5 (58.3)	12	8	6 (60.0)		
	アジア									
	インドネシア	2 (0.4)	2		(100)					
	マレーシア	2 (0.4)	2		(100)					
	イラン	2 (0.4)		2						
	ベトナム	1 (0.2)			1					
	パキスタン	1 (0.2)		1						
	バングラデシュ	1 (0.2)	1		(100)					
アフリカ	ケニア	11 (2.4)	9	2	(81.8)	20	4	4 (83.3)		
	ガーナ	4 (0.9)	2	1	1 (66.7)					
	ナイジェリア	4 (0.9)	3	1	(75.0)					
	ウガンダ	3 (0.6)	2		1 (100)					
	タンザニア	2 (0.4)	2		(100)					
	ジンバブエ	2 (0.4)	1		1 (100)					
	エジプト	1 (0.2)	1		(100)					
	ザイール	1 (0.2)			1					
北米	アメリカ	5 (1.1)	2	1	2 (66.7)	2	1	2 (66.7)		
中南米	ブラジル	24 (5.1)	9	9	6 (50.0)	11	9	11 (55.0)		
	ペルー	4 (0.9)	1		3 (100)					
	ボリビア	2 (0.4)			2					
	ドミニカ	1 (0.2)	1		(100)					
欧州	イタリア	1 (0.2)			1	1	0	1 (100)		
	ベルギー	1 (0.2)	1		(100)					
不明		183 (39.1)	11	3	169 (78.6)	11	3	169 (78.6)		
総計		468 (100)	102	120	246 (45.9)	102	120	246 (45.9)		

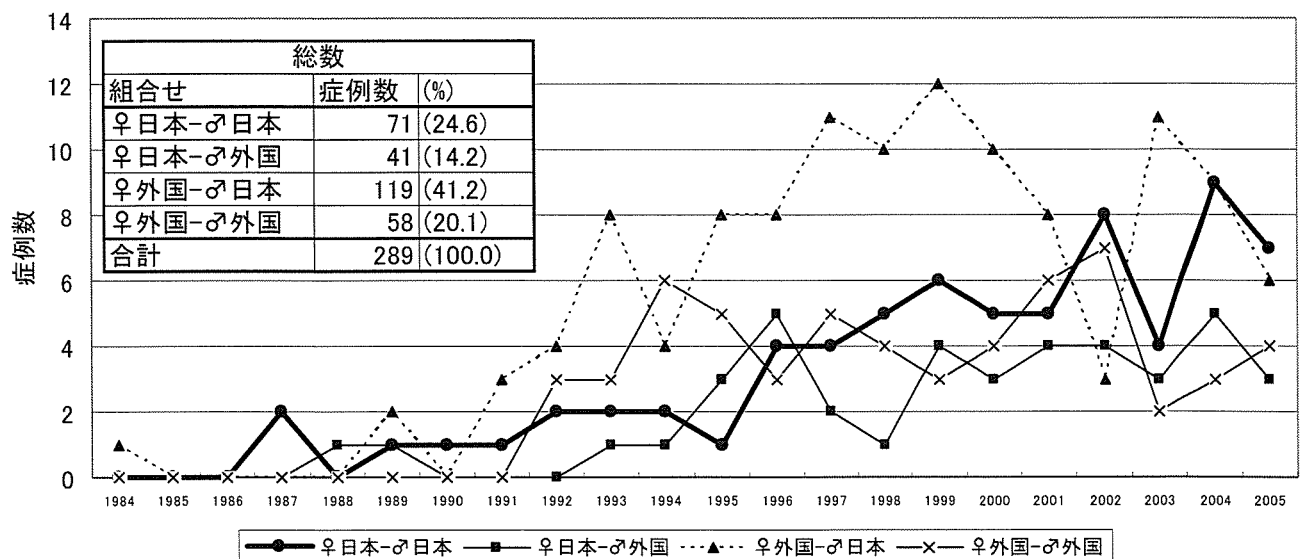


図 5 HIV 感染妊婦とパートナー（夫）の国籍の組み合わせ別・年次別変動（平成 18 年度産科小児科統合ファイル）

表 5 HIV 感染妊婦の年次別妊娠転帰と母子感染（平成 18 年度産科小児科統合ファイル）

発生年	妊娠数	分娩数		選択的帝王切		緊急帝王切			経産			中絶	分娩様式不明・転帰不明・妊娠中		
		総数 (%)	総数 (%)	感染	非感染	総数 (%)	感染	非感染	総数 (%)	感染	非感染	中絶	総数	感染	非感染
1984	1	0 (0.0)	0			0			0				1	1	
1985	0	0	0			0			0				0		
1986	0	0	0			0			0				0		
1987	2	2 (100.0)	1 (50.0)		1	0 (0.0)			1 (50.0)	1			0		
1988	2	2 (100.0)	2 (100.0)		2	0 (0.0)			0 (0.0)				0		
1989	4	4 (100.0)	1 (25.0)		1	0 (0.0)			3 (75.0)		2		0		
1990	2	1 (50.0)	1 (100.0)		1	0 (0.0)			0 (0.0)			1	0		
1991	6	5 (83.3)	1 (20.0)	1		0 (0.0)			4 (80.0)	3		1	0		
1992	9	6 (66.7)	3 (50.0)		3	0 (0.0)			3 (50.0)	2	1	2	1	1	
1993	17	12 (70.6)	5 (41.7)	1	4	1 (8.3)		1	6 (50.0)	4	2	4	1	1	
1994	20	15 (75.0)	8 (53.3)	1	7	2 (13.3)		2	5 (33.3)	2	3	5	0		
1995	25	18 (72.0)	10 (55.6)	1	9	1 (5.6)		1	7 (38.9)	4	2	4	3	2	
1996	29	21 (72.4)	11 (52.4)		11	3 (14.3)	1	2	7 (33.3)	2	4	7	1		
1997	38	23 (60.5)	18 (78.3)	2	15	1 (4.3)	1		4 (17.4)	2	1	12	3		
1998	39	29 (74.4)	24 (82.8)		19	1 (3.4)	1		4 (13.8)	2	2	10	0		
1999	40	27 (67.5)	22 (81.5)		21	1 (3.7)		1	4 (14.8)	1		10	3		
2000	41	23 (56.1)	20 (87.0)	1	16	0 (0.0)			3 (13.0)	2	1	10	8	1	1
2001	37	28 (75.7)	25 (89.3)		23	2 (7.1)		2	1 (3.6)		1	3	6		
2002	35	30 (85.7)	25 (83.3)		19	3 (10.0)		3	2 (6.7)		1	3	2		
2003	32	26 (81.3)	20 (76.9)		17	2 (7.7)		2	4 (15.4)		4	4	2		
2004	37	26 (70.3)	24 (92.3)		20	1 (3.8)		1	1 (3.8)		1	8	3		
2005	40	26 (65.0)	23 (88.5)	1	20	3 (11.5)		3	0 (0.0)			5	9		
2006	8	0	0			0			0				8		
不明	4	0	0			0			0				4		
総計	468	324 (69.2)	244 (75.3)	8	209	21 (6.5)	3	18	59 (18.2)	25	25	89	55	6	1

表 6 都道府県別調査回答率（診療所一次調査）

都道府県	送付数	回収数	回収率	産院廃止等	有効送付数	回答数	回答率
北海道	137	64	46.7%	1	136	63	46.3%
青森	58	27	46.6%	1	57	26	45.6%
岩手	58	37	63.8%	2	56	35	62.5%
宮城	103	52	50.5%	7	96	45	46.9%
秋田	56	27	48.2%	0	56	27	48.2%
山形	64	25	39.1%	3	61	22	36.1%
福島	107	45	42.1%	1	106	44	41.5%
茨城	122	40	32.8%	2	120	38	31.7%
栃木	94	43	45.7%	3	91	40	44.0%
群馬	119	45	37.8%	3	116	42	36.2%
埼玉	279	97	34.8%	2	277	95	34.3%
千葉	261	105	40.2%	4	257	101	39.3%
東京	765	282	36.9%	14	751	268	35.7%
神奈川	338	155	45.9%	7	331	148	44.7%
新潟	109	51	46.8%	2	107	49	45.8%
山梨	44	22	50.0%	1	43	21	48.8%
長野	91	45	49.5%	0	91	45	49.5%
富山	42	19	45.2%	1	41	18	43.9%
石川	56	16	28.6%	1	55	15	27.3%
福井	36	23	63.9%	0	36	23	63.9%
岐阜	113	55	48.7%	1	112	54	48.2%
静岡	167	76	45.5%	2	165	74	44.8%
愛知	246	105	42.7%	4	242	101	41.7%
三重	100	47	47.0%	2	98	45	45.9%
滋賀	59	23	39.0%	2	57	21	36.8%
京都	143	65	45.5%	8	135	57	42.2%
大阪	465	165	35.5%	15	450	150	33.3%
兵庫	280	133	47.5%	6	274	127	46.4%
奈良	80	22	27.5%	1	79	21	26.6%
和歌山	69	22	31.9%	0	69	22	31.9%
鳥取	40	13	32.5%	0	40	13	32.5%
島根	48	15	31.3%	1	47	14	29.8%
岡山	83	42	50.6%	1	82	41	50.0%
広島	145	62	42.8%	3	142	59	41.5%
山口	61	23	37.7%	0	61	23	37.7%
徳島	59	31	52.5%	3	56	28	50.0%
香川	40	20	50.0%	2	38	18	47.4%
愛媛	73	27	37.0%	2	71	25	35.2%
高知	29	15	51.7%	1	28	14	50.0%
福岡	241	125	51.9%	3	238	122	51.3%
佐賀	51	26	51.0%	0	51	26	51.0%
長崎	78	42	53.8%	0	78	42	53.8%
熊本	85	37	43.5%	0	85	37	43.5%
大分	46	25	54.3%	1	45	24	53.3%
宮崎	71	33	46.5%	1	70	32	45.7%
鹿児島	100	38	38.0%	4	96	34	35.4%
沖縄	52	18	34.6%	1	51	17	33.3%
合計	5,963	2,525	42.3%	119	5,844	2,406	41.2%

表 7 都道府県別症例数（診療所一次調査）

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合
北海道・東北	北海道	1	1.3%	5	6.6%
	秋田	2	2.6%		
	福島	2	2.6%		
関東・甲信越	茨城	11	14.5%	54	71.1%
	栃木	2	2.6%		
	群馬	1	1.3%		
	埼玉	3	3.9%		
	千葉	12	15.8%		
	東京	14	18.4%		
	神奈川	10	13.2%		
	長野	1	1.3%		
東海・北陸	福井	2	2.6%	5	6.6%
	愛知	3	3.9%		
近畿	京都	1	1.3%	9	11.8%
	大阪	7	9.2%		
	兵庫	1	1.3%		
中国・四国	愛媛	1	1.3%	1	1.3%
九州	福岡	2	2.6%	2	2.6%
合計		76	100.0%	76	100.0%

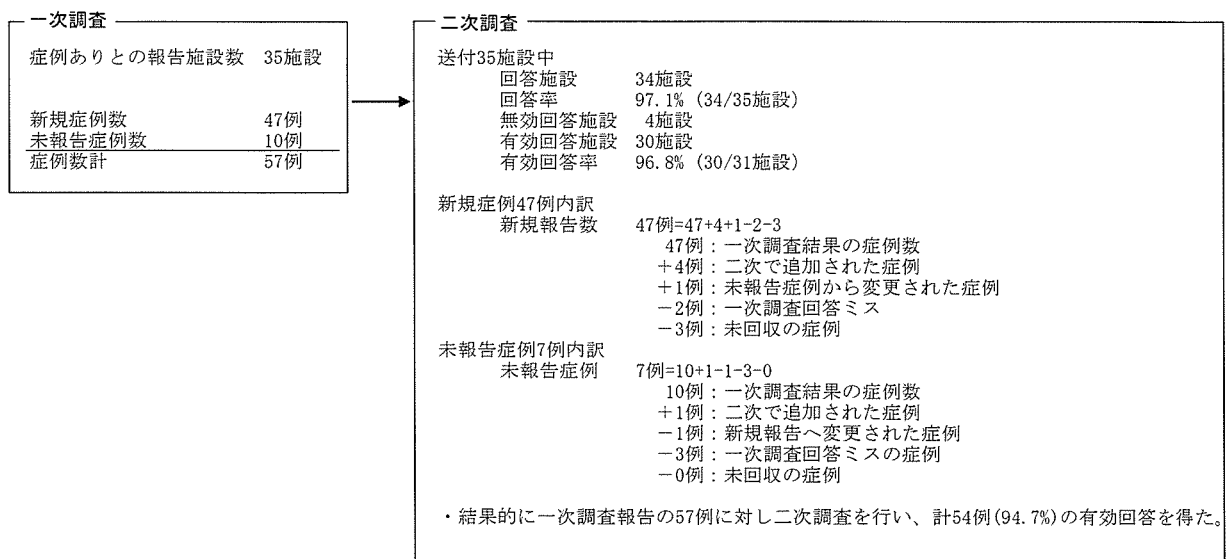


図 6 診療所二次調査結果

表 8 都道府県別症例数（診療所二次調査）

ブロック	都道府県	症例数 (%)	ブロック別 (%)
北海道・東北	北海道	1 (1.8)	4 (7.1)
	秋田	1 (1.8)	
	福島	2 (3.6)	
関東・甲信越	茨城	6 (10.7)	41 (73.2)
	栃木	2 (3.6)	
	群馬	2 (3.6)	
	埼玉	2 (3.6)	
	千葉	12 (21.4)	
	東京	10 (17.9)	
	神奈川	6 (10.7)	
	長野	1 (1.8)	
東海・北陸	福井	1 (1.8)	4 (7.1)
	愛知	3 (5.4)	
近畿	京都	1 (1.8)	5 (8.9)
	大阪	3 (5.4)	
	兵庫	1 (1.8)	
九州・沖縄	福岡	2 (3.6)	2 (3.6)
合計		56 (100)	56 (100)

表 9 国籍県別症例数（診療所二次調査）

地域	国籍	症例数 (%)	地域別 (%)
東アジア	日本	19 (33.9)	19 (33.9)
その他	タイ	13 (23.2)	26 (46.4)
アジア	フィリピン	9 (16.1)	
	ミャンマー	1 (1.8)	
	ベトナム	1 (1.8)	
	カンボジア	2 (3.6)	
アフリカ	ウガンダ	1 (1.8)	1 (1.8)
中南米	ブラジル	1 (1.8)	1 (1.8)
不明		9 (16.1)	9 (16.1)
合計		56 (100)	56 (100)

表 10 転帰について（診療所二次調査）

転帰	症例数
診療所にて分娩	2・・・下記①, ②
診療所にて中絶	1・・・下記③
高次病院へ紹介	39
外国籍妊婦で帰国した	5
不明	9
合計	56

うち、本研究班に病院調査で報告済みの症例と合致したもの・・・7例

診療所にて出産あるいは中絶した症例・・・3例

- ① 1995年3月の症例。カンボジア人妊婦で初診時（妊娠38週）に梅毒反応検査を施行。陽性であったため、HIV抗体検査も施行。初診より1週間後の分娩後にHIV陽性が判明。骨盤位であったためゴム手袋でなく綿手袋にて分娩を行った。母子感染あり。その後は高次病院へ紹介。（既報告例）
- ② 2002年12月の症例。タイ人妊婦で本国では妊婦検診も受けていなかった。腹痛を訴え来院し、一時間後経膣分娩にて男児出産。分娩後血液検査にて本人のHIV感染が判明。その後タイへ強制送還された。
- ③ 8年程前の症例。妊婦の国籍は不明。妊娠7週に本人の希望により、診療所にて中絶術施行。1週間後の再診時に子宮腔部～腔壁のびらんがあり、他の総合病院産婦人科を紹介したところ、その病院の内科に以前からHIV感染患者として受診していたことがわかった。

表 11 都道府県別調査回答率（病院一次調査）

都道府県	送付数	回収数	回収率	廃止等	有効送付数	回答数	回答率	再送付数	再送付回収数	再送付回収率	廃止等	再送付回答数	最終有効送付数	最終回収数	最終回答数	最終回答率
北海道	88	43	48.9%	2	86	41	47.7%	45	14	31.1%	0	14	86	57	55	64.0%
青森	21	9	42.9%	1	20	8	40.0%	12	5	41.7%	0	5	20	14	13	65.0%
岩手	22	10	45.5%	0	22	10	45.5%	12	4	33.3%	0	4	22	14	14	63.6%
宮城	32	18	56.3%	0	32	18	56.3%	14	6	42.9%	0	6	32	24	24	75.0%
秋田	19	10	52.6%	0	19	10	52.6%	9	2	22.2%	0	2	19	12	12	63.2%
山形	26	14	53.8%	0	26	14	53.8%	12	6	50.0%	0	6	26	20	20	76.9%
福島	36	19	52.8%	3	33	16	48.5%	17	3	17.6%	0	3	33	22	19	57.6%
茨城	36	18	50.0%	2	34	16	47.1%	18	10	55.6%	0	10	34	28	26	76.5%
栃木	20	13	65.0%	1	19	12	63.2%	7	4	57.1%	1	3	18	17	15	83.3%
群馬	24	11	45.8%	0	24	11	45.8%	13	6	46.2%	1	5	23	17	16	69.6%
埼玉	53	21	39.6%	1	52	20	38.5%	32	12	37.5%	0	12	52	33	32	61.5%
千葉	49	30	61.2%	2	47	28	59.6%	19	8	42.1%	0	8	47	38	36	76.6%
東京	131	73	55.7%	0	131	73	55.7%	58	20	34.5%	1	19	130	93	92	70.8%
神奈川	86	52	60.5%	5	81	47	58.0%	34	17	50.0%	0	17	81	69	64	79.0%
新潟	41	27	65.9%	1	40	26	65.0%	14	7	50.0%	0	7	40	34	33	82.5%
山梨	15	8	53.3%	0	15	8	53.3%	7	1	14.3%	0	1	15	9	9	60.0%
長野	40	20	50.0%	0	40	20	50.0%	20	12	60.0%	2	10	38	32	30	78.9%
富山	23	13	56.5%	0	23	13	56.5%	10	5	50.0%	0	5	23	18	18	78.3%
石川	28	13	46.4%	0	28	13	46.4%	15	9	60.0%	1	8	27	22	21	77.8%
福井	16	7	43.8%	0	16	7	43.8%	9	5	55.6%	0	5	16	12	12	75.0%
岐阜	32	15	46.9%	1	31	14	45.2%	17	9	52.9%	1	8	30	24	22	73.3%
静岡	34	18	52.9%	0	34	18	52.9%	16	8	50.0%	0	8	34	26	26	76.5%
愛知	86	44	51.2%	1	85	43	50.6%	42	14	33.3%	0	14	85	58	57	67.1%
三重	23	10	43.5%	0	23	10	43.5%	13	5	38.5%	0	5	23	15	15	65.2%
滋賀	17	6	35.3%	0	17	6	35.3%	11	2	18.2%	0	2	17	8	8	47.1%
京都	44	26	59.1%	0	44	26	59.1%	18	8	44.4%	0	8	44	34	34	77.3%
大阪	98	47	48.0%	0	98	47	48.0%	51	18	35.3%	2	16	96	65	63	65.6%
兵庫	65	24	36.9%	0	65	24	36.9%	41	17	41.5%	2	15	63	41	39	61.9%
奈良	17	8	47.1%	0	17	8	47.1%	9	6	66.7%	1	5	16	14	13	81.3%
和歌山	16	6	37.5%	2	14	4	28.6%	10	7	70.0%	1	6	13	13	10	76.9%
鳥取	10	6	60.0%	0	10	6	60.0%	4	2	50.0%	0	2	10	8	8	80.0%
島根	18	13	72.2%	0	18	13	72.2%	5	3	60.0%	0	3	18	16	16	88.9%
岡山	30	21	70.0%	0	30	21	70.0%	9	7	77.8%	0	7	30	28	28	93.3%
広島	41	25	61.0%	0	41	25	61.0%	16	7	43.8%	0	7	41	32	32	78.0%
山口	26	20	76.9%	1	25	19	76.0%	6	5	83.3%	0	5	25	25	24	96.0%
徳島	13	9	69.2%	0	13	9	69.2%	4	1	25.0%	0	1	13	10	10	76.9%
香川	23	14	60.9%	0	23	14	60.9%	9	4	44.4%	1	3	22	18	17	77.3%
愛媛	19	9	47.4%	0	19	9	47.4%	10	5	50.0%	0	5	19	14	14	73.7%
高知	12	7	58.3%	0	12	7	58.3%	5	2	40.0%	0	2	12	9	9	75.0%
福岡	44	26	59.1%	1	43	25	58.1%	18	10	55.6%	0	10	43	36	35	81.4%
佐賀	11	9	81.8%	2	9	7	77.8%	2	1	50.0%	0	1	9	10	8	88.9%
長崎	24	16	66.7%	1	23	15	65.2%	8	5	62.5%	0	5	23	21	20	87.0%
熊本	23	7	30.4%	0	23	7	30.4%	16	3	18.8%	0	3	23	11	10	43.5%
大分	19	5	26.3%	0	19	5	26.3%	14	6	42.9%	1	5	18	11	10	55.6%
宮崎	14	7	50.0%	0	14	7	50.0%	7	5	71.4%	0	5	14	12	12	85.7%
鹿児島	28	18	64.3%	0	28	18	64.3%	10	1	10.0%	0	1	28	19	19	67.9%
沖縄	23	11	47.8%	0	23	11	47.8%	12	4	33.3%	0	4	23	15	15	65.2%
全国	1,616	856	53.0%	27	1,589	829	52.2%	760	321	42.2%	15	306	1,574	1,178	1,135	72.1%

表 12 都道府県別新規症例数（病院一次調査）

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合
北海道・東北	北海道	1	2.1%	3	6.4%
	福島	2	4.3%		
関東・甲信越	茨城	3	6.4%	31	66.0%
	栃木	4	8.5%		
	埼玉	3	6.4%		
	千葉	3	6.4%		
	東京	10	21.3%		
	神奈川	4	8.5%		
	新潟	1	2.1%		
	山梨	1	2.1%		
	長野	2	4.3%		
東海・北陸	静岡	2	4.3%	8	17.0%
	愛知	4	8.5%		
	三重	2	4.3%		
近畿	滋賀	1	2.1%	3	6.4%
	大阪	1	2.1%		
	奈良	1	2.1%		
九州	福岡	1	2.1%	2	4.3%
	鹿児島	1	2.1%		
全国		47	100.0%	47	100.0%

表 13 都道府県別既調査未報告症例数（病院一次調査）

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合
関東・甲信越	埼玉	2	20.0%	5	50.0%
	千葉	2	20.0%		
	神奈川	1	10.0%		
近畿	京都	1	10.0%	1	10.0%
九州	鹿児島	4	40.0%	4	40.0%
合計		10	100.0%	10	100.0%

表 14 都道府県別累積症例数（病院一次調査）

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合
北海道・東北	北海道	8	1.4%	26	4.6%
	青森	2	0.4%		
	岩手	2	0.4%		
	宮城	7	1.2%		
	秋田	3	0.5%		
	山形	0	0.0%		
関東・甲信越	福島	4	0.7%	373	65.8%
	茨城	34	6.0%		
	栃木	20	3.5%		
	群馬	10	1.8%		
	埼玉	41	7.2%		
	千葉	63	11.1%		
	東京都	122	21.5%		
	神奈川県	46	8.1%		
	新潟	6	1.1%		
	山梨	7	1.2%		
東海・北陸	長野	24	4.2%	79	13.9%
	富山	0	0.0%		
	石川	2	0.4%		
	福井	6	1.1%		
	岐阜	3	0.5%		
	静岡県	22	3.9%		
近畿	愛知	40	7.1%	58	10.2%
	三重	6	1.1%		
	滋賀	7	1.2%		
	京都	11	1.9%		
	大阪	30	5.3%		
	兵庫県	5	0.9%		
中国・四国	奈良	5	0.9%	14	2.5%
	和歌山	0	0.0%		
	鳥取	0	0.0%		
	島根	0	0.0%		
	岡山	0	0.0%		
	広島	4	0.7%		
九州	山口	2	0.4%	17	3.0%
	徳島	0	0.0%		
	香川	3	0.5%		
	愛媛	4	0.7%		
	高知	1	0.2%		
	福岡	6	1.1%		
	佐賀	0	0.0%		
	長崎	1	0.2%		
	熊本	0	0.0%		
	大分	0	0.0%		
合計	宮崎	0	0.0%	567	100.0%
	鹿児島	9	1.6%		
	沖縄	1	0.2%		

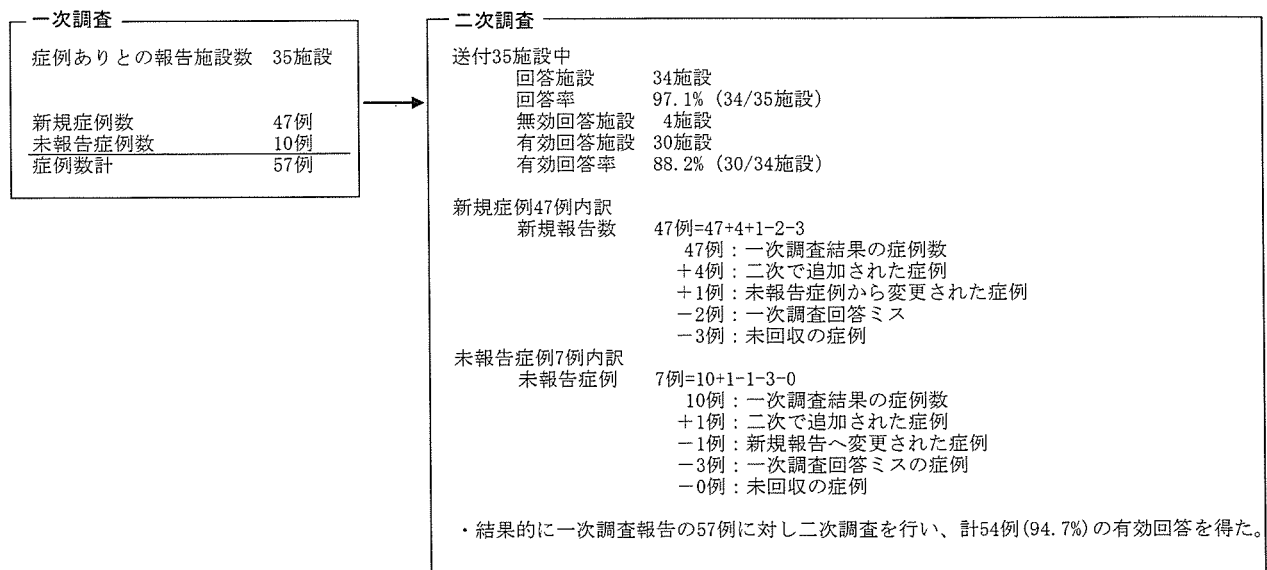


図 7 病院二次調査結果

表 15 平成 18 年度産婦人科病院妊娠転帰別二次調査結果

妊娠転帰	新規症例(うち既報告/重複)	未報告例(うち既報告/重複)	小計	18年度追加症例
選択的帝切	29 (4/0)	4 (3/0)	33	26
緊急帝切	1 (0/0)	0 (0/0)	1	1
経膣	1 (0/0)	0 (0/0)	1	1
中絶	10 (0/0)	3 (0/0)	13	13
妊娠中・不明	6 (0/0)	0 (0/0)	6	6
小計	47 (4/0)	7 (3/0)	54	
18年度追加症例	43	4		47

新規症例：今年度発生した新たな症例

未報告例：前年度までに発生した症例

既報告例：前年度までに既に報告を受けている症例

重複例：今年度重なって報告された症例

表 16 HIV 感染妊婦の妊娠転帰（産科ファイル）

妊娠転帰	平成17年度までの 累積報告数	今年度追加報告数	妊娠転帰変更症例数*	合計
選択的帝切	190	26	3	219
緊急帝切	16	1		17
経膣	34	1		35
中絶	90	13		103
妊娠中・不明	49	6	-3	52
合計	379	47		426

*17年度調査で妊娠中の4例が今年度予定帝切として報告

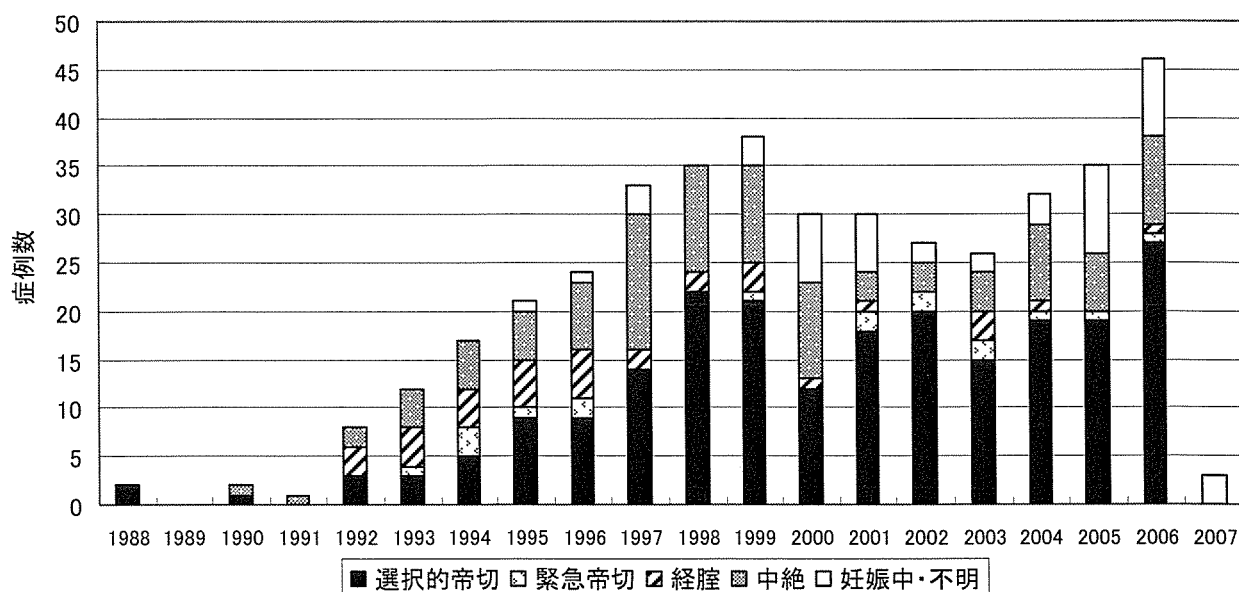


図 8 HIV 感染妊婦数の妊娠転帰別・年次別変動（産科ファイル）

表 17 2006 年妊娠転帰の HIV 感染妊婦の都道府県別症例数

ブロック	都道府県	症例数 (%)	ブロック別 (%)
北海道・東北	北海道	1 (2.2)	3 (6.5)
	福島	2 (4.3)	
関東・甲信越	栃木	3 (6.5)	24 (52.2)
	埼玉	2 (4.3)	
	千葉	2 (4.3)	
	東京	8 (17.4)	
	神奈川	4 (8.7)	
	新潟	1 (2.2)	
	山梨	1 (2.2)	
東海・北陸	長野	3 (6.5)	13 (28.3)
	静岡	3 (6.5)	
	愛知	8 (17.4)	
	三重	2 (4.3)	
近畿	滋賀	1 (2.2)	3 (6.5)
	大阪	1 (2.2)	
	奈良	1 (2.2)	
中国・四国	山口	1 (2.2)	1 (2.2)
九州・沖縄	福岡	1 (2.2)	2 (4.3)
	鹿児島	1 (2.2)	
全国		46 (100.0)	46 (100)

表 18 2006 年妊娠転帰の HIV 感染妊婦の国籍別症例数

地域	国籍	症例数 (%)	地域別 (%)
東アジア	日本	23 (50.0)	23 (50.0)
その他	タイ	5 (10.9)	13 (28.3)
	アジア フィリピン	3 (6.5)	
	ミャンマー	1 (2.2)	
	ベトナム	1 (2.2)	
	ラオス	1 (2.2)	
	インドネシア	1 (2.2)	
	ウクライナ	1 (2.2)	
アフリカ	ケニア	1 (2.2)	2 (4.3)
	ナイジェリア	1 (2.2)	
中南米	ブラジル	6 (13.0)	7 (15.2)
	ホンジュラス	1 (2.2)	
不明		1 (2.2)	1 (2.2)
合計		46 (100)	46 (100)

表 19 2006 年妊娠転帰の HIV 感染妊婦の分娩様式別母子感染数

分娩様式	感染	非感染	不明	総計
選択的帝切		20	7	27
緊急帝切		1		1
経膣		1		1
中絶				9
不明			8	8
合計	0	22	14	46

表 20 2006 年妊娠転帰の症例の抗ウイルス薬のレジメン別症例数

薬剤数	レジメン	症例数 (%)
単剤	AZT	1 (2.2)
3剤以上	AZT+3TC+NFV	20 (43.5)
	AZT+3TC+LPV/RTV	5 (10.9)
	ZDV+3TC+NFV	2 (4.3)
	3TC+ABC+ATV	1 (2.2)
	TDF+3TC+ATV+RTV	1 (2.2)
	AZT+3TC+SQV-HGC+RTV	1 (2.2)
	ATV+RTV+3TC+TDF	1 (2.2)
	FTC/TDF+ATV+RTV→AZT+3TC+NFV→AZT+3TC+SQV-SGC+RTV	1 (2.2)
	AZT+3TC+NFV→AZT+3TC+SQV-HGC+RTV→AZT+3TC+SQV-HGC+RTV	1 (2.2)
	投薬について記載なし	12 (26.1)
総計		46 (100)

表 21 HIV 感染妊婦の年次別妊娠転帰と母子感染 (産科ファイル)

発生年	妊娠数	分娩数 (%)	選択的帝切			緊急帝切			経膣			妊娠中・不明 総数 (%)	中絶 総数 (%)
			総数 (%)	非感染	感染 (%)	総数 (%)	非感染	感染 (%)	総数 (%)	非感染	感染 (%)		
1988	2	2 (100)	2 (100)		2								
1989	0	0											
1990	2	1 (50.0)	1 (100)		1								1 (50.0)
1991	1	0 (0.0)											1 (100.0)
1992	8	6 (75.0)	3 (50.0)		3			3 (50.0)	1	2			2 (25.0)
1993	12	8 (66.7)	3 (37.5)		3	1 (12.5)	1	4 (50.0)	1	3			4 (33.3)
1994	17	12 (70.6)	5 (41.7)		5	3 (25.0)	2	1 (33.3)	4 (33.3)	2	2		5 (29.4)
1995	21	15 (71.4)	9 (60.0)	8	1 (11.1)	1 (6.7)	1	5 (33.3)	2	3	1 (4.8)		5 (23.8)
1996	24	16 (66.7)	9 (56.3)	9		2 (12.5)	2	5 (31.3)	4	1	1 (4.2)		7 (29.2)
1997	33	16 (48.5)	14 (87.5)	13		2 (12.5)		2 (12.5)	1		3 (9.1)		14 (42.4)
1998	35	24 (68.6)	22 (91.7)	17		2 (8.3)		2 (8.3)	2		(0.0)		11 (31.4)
1999	38	25 (65.8)	21 (84.0)	20		1 (4.0)	1	3 (12.0)			3 (7.9)		10 (26.3)
2000	30	13 (43.3)	12 (92.3)	10				1 (7.7)		1	7 (23.3)		10 (33.3)
2001	30	21 (70.0)	18 (85.7)	17		2 (9.5)	2	1 (4.8)	1		6 (20.0)		3 (10.0)
2002	27	22 (81.5)	20 (90.9)	15		2 (9.1)	2				2 (7.4)		3 (11.1)
2003	26	20 (76.9)	15 (75.0)	14		2 (10.0)	2	3 (15.0)	3		2 (7.7)		4 (15.4)
2004	32	21 (65.6)	19 (90.5)	17		1 (4.8)	1	1 (4.8)	1		3 (9.4)		8 (25.0)
2005	35	20 (57.1)	19 (95.0)	19		1 (5.0)	1				9 (25.7)		6 (17.1)
2006	46	29 (63.0)	27 (93.1)	20		1 (3.4)	1	1 (3.4)	1		8 (17.4)		9 (19.6)
2007	3	0 (0.0)									3 (100.0)		(0.0)
不明	4	0 (0.0)									4 (100.0)		(0)
総計	426	271 (63.6)	219 (80.8)	193	1 (0.5)	17 (6.3)	16	1 (5.9)	35 (12.9)	19	12	52 (12.2)	103 (24.2)

表 22 分娩様式別の母子感染率 (産科ファイル)

分娩様式	非感染	感染	感染率
選択的帝切	193	1	0.5%
緊急帝切	16	1	5.9%
経膣	19	5 *	20.8%
合計	228	7	3.0%

*児の異常による受診を契機に母親のHIV感染と母子感染が判明した7例を除く

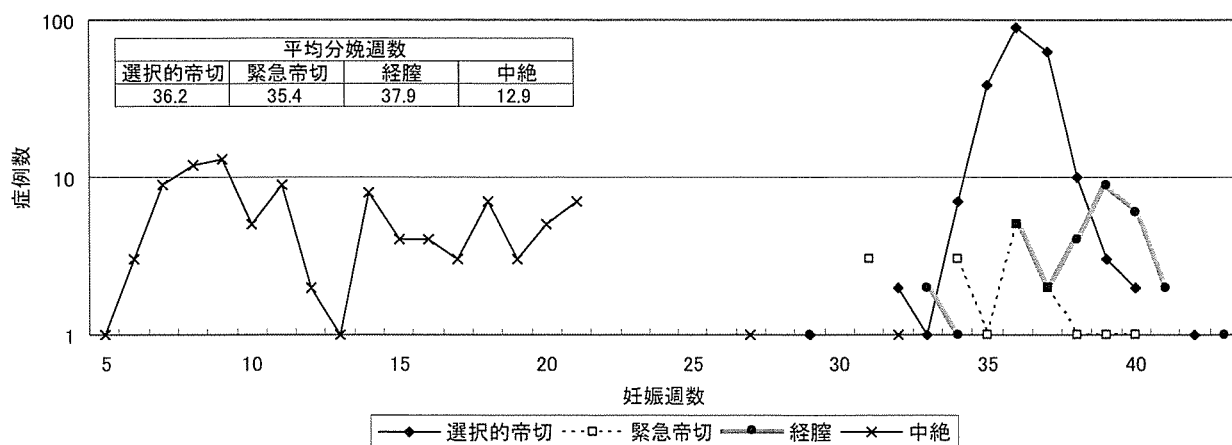


図 9 分娩様式別分娩週数の分布 (産科ファイル)

表 23 年次別抗ウイルス薬のレジメン別症例数 (産科ファイル)

薬剤数	レジメン	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	不明	総計	総計	
1剤	AZT					1	1	2	4	6	12	15	11	5	7	6	2	1	2	1			76	(17.8)	
	小計	0	0	0	0	1	1	2	4	6	12	15	11	5	7	6	2	1	2	1	0	0	76	(17.8)	
2剤	AZT+3TC								1			1	2											4	(0.9)
	その他 (1種類)							1		1														2	(0.5)
小計		0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	(1.4)
3剤以上	AZT+3TC+NFV								1			2	2	5	7	5	6	12	11	20	1			72	(16.9)
	AZT+3TC+LPV/RTV															1	3	1	3	5	1			14	(3.3)
	d4T+3TC+NFV												2				1	3	3	3				12	(2.8)
	その他 (21種類)									1			1	3	3	2	2	2	2	6	6			26	(6.1)
小計		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	5	8	10	9	14	18	23	31	2	0	124	(29.1)	
レジメン変更 (全て3剤以上へ)													1	1	3	2	2	2	3	2				16	(3.8)
投与について記載なし		2		2	1	7	11	14	15	16	21	17	19	16	10	10	8	11	7	12	1	4	204	(47.9)	
合計		2	0	2	1	9	13	20	27	32	45	53	56	43	47	42	42	51	60	78	5	4	426	(100)	

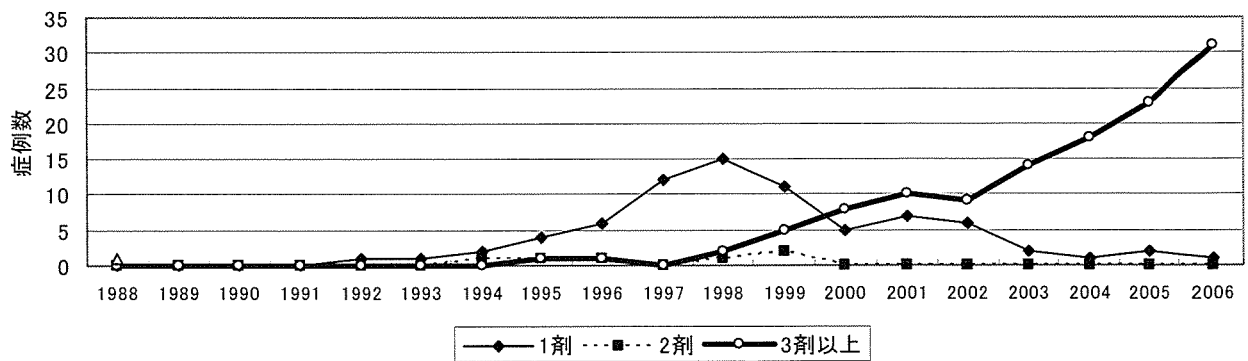


図 10 抗ウイルス薬の併用薬剤数別・年次別使用症例数 (産科ファイル)

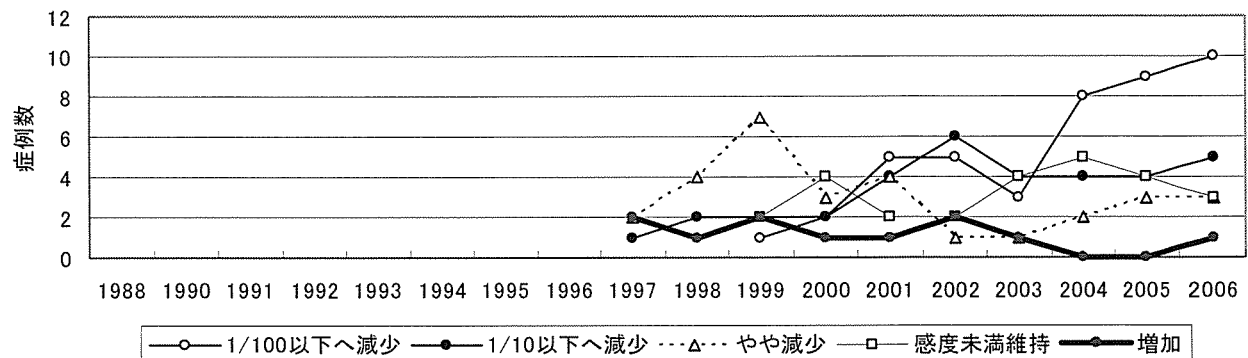


図 11 抗体ウイルス薬投与による血中ウイルス量の変化の年次別推移 (産科ファイル)

表 24 分娩様式と抗ウイルス薬の投与状況 (産科ファイル)

分娩様式	母子感染	総数	投与なし・不明	投与あり			レジメン変更	小計	(投与率)
				AZT	2剤併用	3剤以上			
選択的帝切	非感染	193	39	55	3	83	13	154	(79.8)
	感染	1		1				1	(100)
	不明	25	5	4		16		20	(80.0)
	小計	219	44	60	3	99	13	175	(79.9)
緊急帝切	非感染	16	7	1	1	5	2	9	(56.3)
	感染	1	1					0	(0.0)
	不明	0						0	
	小計	17	8	1	1	5	2	9	(52.9)
経膣	非感染	19	15	1		3		4	(21.1)
	感染	12	12					0	(0.0)
	不明	4	3	1				1	(25.0)
	小計	35	30	2	0	3	0	5	(14.3)
合計		271	82	63	4	107	15	189	(69.7)

表 25 HIV 感染妊婦の血中ウイルス量最高値 (産科ファイル)

ウイルス量(コピー/ml)	症例数 (%)
100,000以上	22 (9.0)
10,000以上100,000未滿	75 (30.7)
感度以上10,000未滿	83 (34.0)
感度未滿	64 (26.2)
合計	244 (100)

表 26 抗ウイルス薬投与による血中ウイルス量の変化(%) (産科ファイル)

薬剤数	1/100以下へ減少	1/10以下へ減少	やや減少	感度未満維持	増加	総計
単剤	0 (0.0)	5 (16.1)	16 (51.6)	4 (12.9)	6 (19.4)	31 (100)
3剤以上	38 (43.2)	27 (30.7)	8 (9.1)	14 (15.9)	1 (1.1)	88 (100)
レジメン変更	3 (25.0)	2 (16.7)	1 (8.3)	5 (41.7)	1 (8.3)	12 (100)
合計	41 (31.3)	34 (26.0)	25 (19.1)	23 (17.6)	8 (6.1)	131 (100)

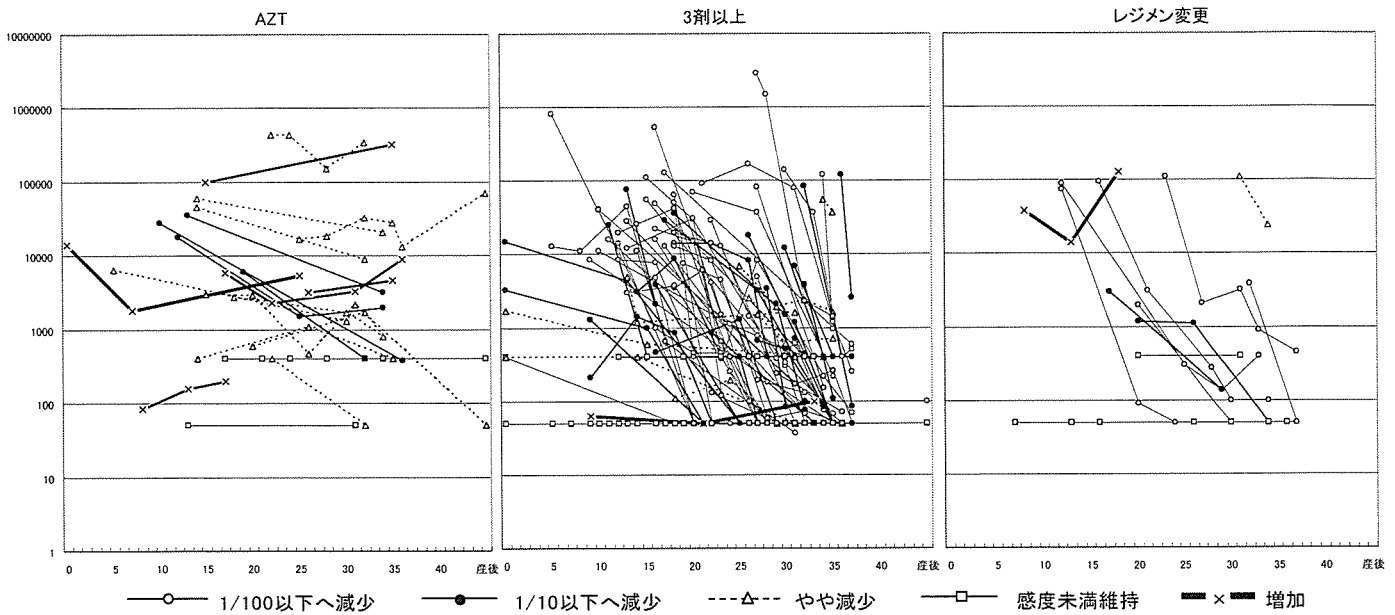


図 12 抗ウイルス薬投与別血中ウイルス量の変化 (産科ファイル)

表 27 HAART 主要 3 レジメンの投与別血中ウイルス量の変化(%) (産科ファイル)

レジメン	1/100以下へ減少	1/10以下へ減少	やや減少	感度未満維持	増加	総計
AZT+3TC+NFV	25 (48.1)	17 (32.7)	4 (7.7)	6 (11.5)	0 (0.0)	52 (100)
AZT+3TC+LPV/RTV	4 (40.0)	5 (50.0)	1 (10.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (100)
d4T+3TC+NFV	1 (16.7)	0 (0.0)	1 (16.7)	4 (66.7)	0 (0.0)	6 (100)

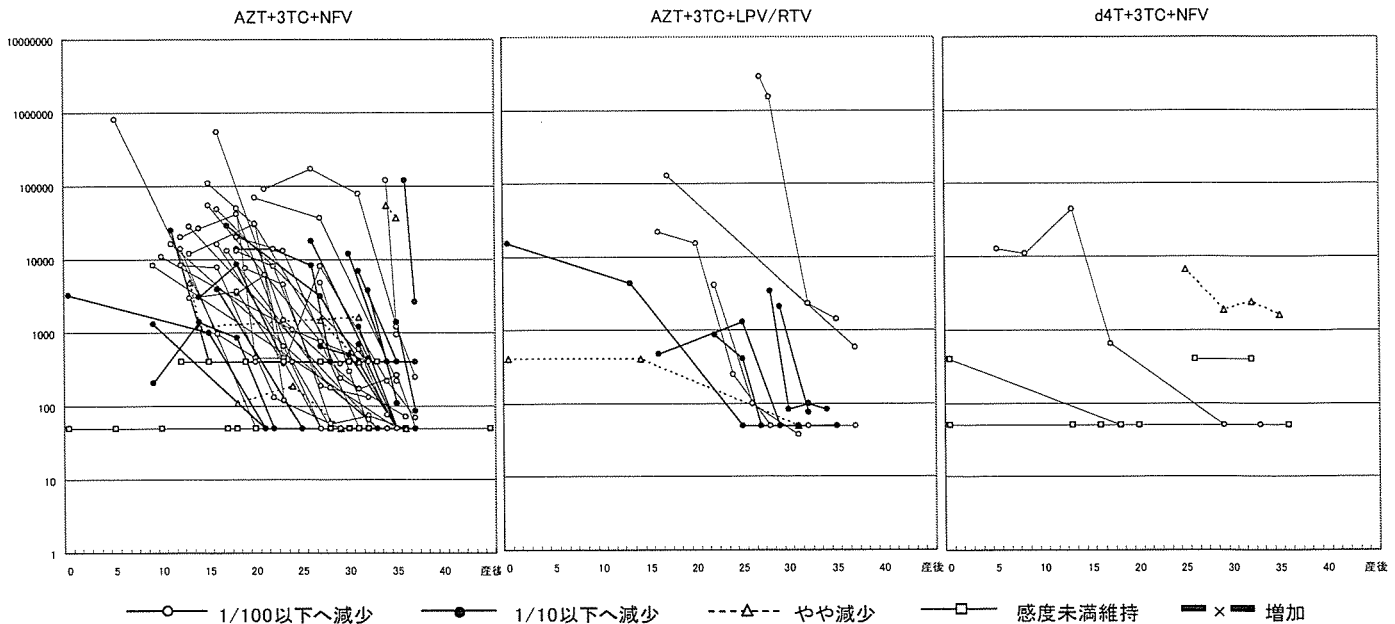


図 13 HAART 主要 3 レジメンの投与別血中ウイルス量の変化 (産科ファイル)